

人と人との絆を創造力に変える

小林マシナリー株式会社



モノづくりの魅力

自動車用部品のプレス・溶接組み立てや、自社開発の自動車用オプシオンパーツの設計製作を行う小林マシナリー。代表取締役社長・帆足篤司氏は技術屋出身ではない。入社前は食品製造加工に携わっていた。しかし、無から有へとモノを生み出すという点では同じであり、そこに面白さがあるという。

帆足氏は自分と同じようにモノづくりに魅力を感じる人を積極的に採用する。自ら面接を行い、採用を決める。その社員を一生見ていく責任を感じることができるからだ。

社員がいるから

同社の創造力は人材育成にある。帆足氏は社員を育てていくという強い思いを持っている。社員に継続的にチャンスを与え続け、「出る杭の引き上げ」をしていく使命を自分に課している。

そのひとつとして賃金制度を能力主義へと変更し、各部門ごとに必要なスキルをグラフ化した「スキルマップ」をつくった。これによって自分に足りない部分がわかりやすくなり、能力主義評価に説得力が生まれる。さらに上司も部下を評価しなければならなかったため、部下のことを考えるようになった。そして、スキルマップを見ながら半年

に1回チャレンジシートを作成する。自分に不足している部分を見つけ、それを半年間の目標とするのである。

社員間の連携を強めるための工夫もしている。全社を挙げて地域の人を招待する納涼祭や、取引先を交えてのフオークリフト等の競技会が毎年開催される。これにより、社員に新鮮な刺激が与えられモチベーションが上がる。ほかにもレクリエーションや社員同士のサークル活動、地域清掃などを行っている。

帆足氏は毎朝門の前に立って通勤してくる社員にあいさつし、社員関係をより良くしようと自らお手本を示している。

「多くの人が毎日同じ時間に出社してくるのはありがたいこと。工場の人間は同じ仕事の繰り返しだから少しでも会社にやりがいを感じてほしい」と言う帆足氏の言葉には社員を大切にしている思いがあらわれている。

素直であること、正直に生きること

帆足氏は常に自分・社員・客先に対して「誠実で素直であること」を心がけている。「お客様のニーズの先読み、必要な投資、要望に

一貫して対応するといった当たり前のことを当たり前にやるのが当社の技術・ノウハウであり、それが品質を良くすることに繋がる」

帆足氏は、「なんでもいいから自社から日本一を出したい」と言う。それは帆足氏の社員を大切にする姿勢のなから生まれるかもしれない。

編集部／河合研斗



技術伝承の工夫の一つであるスキルマップ



Company Profile

小林マシナリー株式会社

所在地：栃木県足利市羽刈町 556

TEL：0284-72-8712 FAX：0284-72-8710

担当者：営業部 近藤 一

事業内容：輸送用機械器具製造、板金プレス・溶接・組立加工
エミダス会社・工場詳細情報：

<http://www.nc-net.or.jp/emidas/gaiyou.php?21291>

※「エミダス工場検索」のキーワード検索「小林マシナリー」で検索できます。



会社情報